

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

山梨県南アルプス市

自治体名： 山梨県南アルプス市
担当課名： 教育委員会事務局 生涯学習課
電話番号： 055-282-7778

本報告書は、スポーツ庁の「令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）」の一環として、山梨県（南アルプス市）が実施した「令和6年度地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」の成果を取りまとめたものです。

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	261.14 km ²
人口	71,702 人 (R6.12月時点)
公立中学校数	7 校
公立中学校生徒数	1, 8 3 2 人
部活動数	1 0 0 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	R5に南アルプス市部活動地域移行推進協議会を設置済 R6は協議会を2回実施
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	市としての方針・方法等を策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

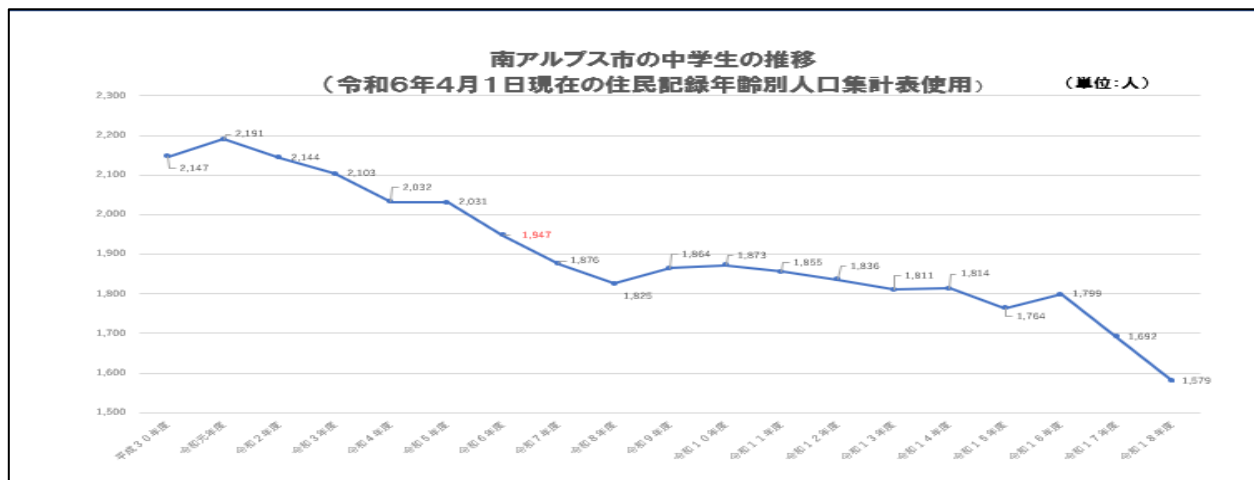
・南アルプス市には7校の公立中学校があり、令和6年4月時点で1, 832人の生徒が在籍している。本市が誕生した平成15年度は2, 491人であり、令和6年と比べると659人減少している。

・現在、市内公立中学校では季節部を含めて100の部活動があり、学校ごとに単独で活動できるものと活動できないものが混在している状況で、単独チームで大会参加できない場合は、複数校で合同チームを組んで活動している。

・令和6年度では地域移行に向けての取組を進めるため、国の定める要件や学校部活動の方針に則る形での事業実施を検討し、①本協議

会に参加し指導者を派遣可能な団体のある競技の部活動、②部員数が少ない競技の部活動、③市内6中学校と広域で合同練習を実施している競技の部活動、の3競技（ホッケー、男子バレーボール、野球）の部活動で先行的にモデル事業を行い、問題点や課題の集積に努めた。

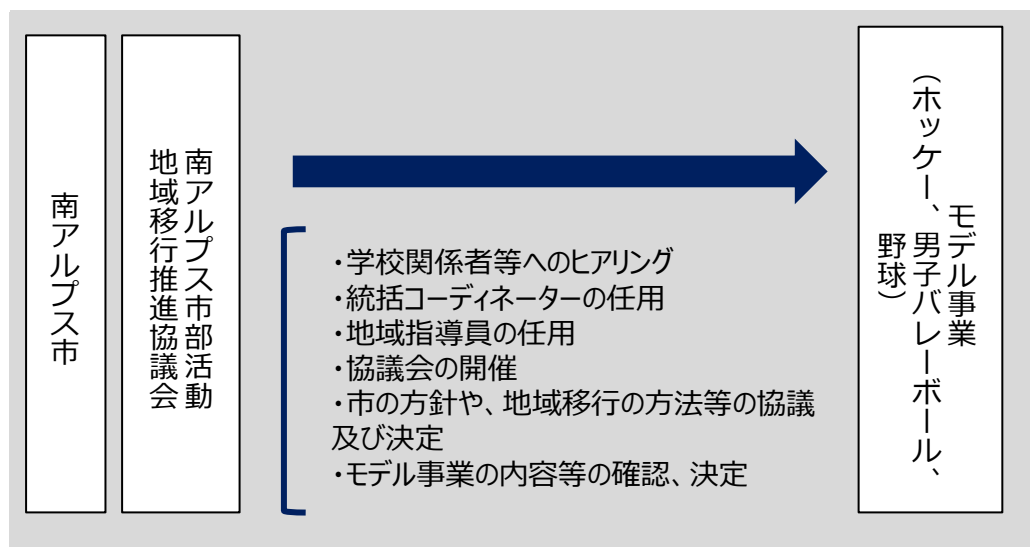
・地域クラブ化した際は、運営費用や指導力と質を兼ね備えた指導者をどのくらい確保出来るのかといったことが課題となることから、今後、解決に向けて検討していく必要がある。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・南アルプス市部活動地域移行推進協議会の開催、南アルプス市部活動地域移行推進協議会委員の選定・任命、その他事務作業全般
- ・統括コーディネーターの任用、地域指導員の派遣や発掘に関する手段の構築、任用、その他事務作業全般
- ・モデル事業の内容等の確認、決定、実施
- ・モデル事業における課題の集積、分析、検証

◎首長部局

- ・首長部局が担当する役割はない。全て教育委員会内で対応している。

年間の事業スケジュール

令和6年4月	・教職員・校長へのアンケート調査実施
令和6年6月	・統括コーディネーター任用 ・全中学校校長との情報交換 ・スポーツ協会・文化協会への地域指導者確保への協力依頼 ・第1回地域移行推進協議会 開催
令和6年7月 ～8月	・学校訪問による学校長との懇談 ・モデル事業実施部活動の選定
令和6年9月 ～11月	・部活動顧問との協議・調整 ・対象となる保護者説明会
令和6年10月 ～12月	・保護者説明会 ・モデル事業実施開始（ホッケー）
令和7年1月	・モデル事業実施開始（男子バレーボール、野球）
令和7年2月	・モデル事業実施 ・アンケート調査の実施
令和7年3月	・モデル事業実施 ・モデル事業で集積した課題、アンケート結果の分析 ・第2回地域移行推進協議会 開催

2.実証内容と成果

モデル事業の運営実績

①全体に関すること

中学校数	7 校	実施したモデル事業総数	1 2 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 2 クラブ（1 2 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	2 8 人（内、兼職兼業 1 0 名）	全体の運営スタッフ数	3 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
白根巨摩中男子ホッケークラブ	南アルプス市	ホッケー	月 1 ～ 4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和 6 年 1 2 月 ～令和 7 年 3 月	白根高校第2グラウンド他	4 人	3 人	会費なし （モデル事業のため）	中体連：部活動 その他：部活動
白根巨摩中女子ホッケークラブ	南アルプス市	ホッケー	月 1 ～ 4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和 6 年 1 2 月 ～令和 7 年 3 月	白根高校第2グラウンド他	3 人	3 人	会費なし （モデル事業のため）	中体連：部活動 その他：部活動
白根御勅使中男子ホッケークラブ	南アルプス市	ホッケー	月 1 ～ 4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和 6 年 1 2 月 ～令和 7 年 3 月	白根高校第2グラウンド他	4 人	3 人	会費なし （モデル事業のため）	中体連：部活動 その他：部活動
白根御勅使中女子ホッケークラブ	南アルプス市	ホッケー	月 1 ～ 4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和 6 年 1 2 月 ～令和 7 年 3 月	白根高校第2グラウンド他	3 人	3 人	会費なし （モデル事業のため）	中体連：部活動 その他：部活動
若草中男子バレーボールクラブ	南アルプス市	バレーボール	月 1 ～ 2 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和 7 年 1 月 ～3 月	若草中体育館・甲西中体育館他	2 人	3 人	会費なし （モデル事業のため）	中体連：部活動 その他：部活動

2.実証内容と成果

モデル事業の運営実績

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
甲西中男子バレーボールクラブ	南アルプス市	バレーボール	月 1 ～ 2 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和 7 年 1 月 ～ 3 月	若草中体育館・甲西中体育館他	2 人	3 人	会費なし （モデル事業のため）	中体連：部活動 その他：部活動
八田中野球クラブ	南アルプス市	野球	月 1 ～ 4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和 7 年 1 月 ～ 2 月	八田野球場他	2 人	3 人	会費なし （モデル事業のため）	中体連：部活動 その他：部活動
白根巨摩中野球クラブ	南アルプス市	野球	月 1 ～ 4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和 7 年 1 月 ～ 2 月	八田野球場他	2 人	3 人	会費なし （モデル事業のため）	中体連：部活動 その他：部活動
白根御勅使中野球クラブ	南アルプス市	野球	月 1 ～ 4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和 7 年 1 月 ～ 2 月	八田野球場他	1 人	3 人	会費なし （モデル事業のため）	中体連：部活動 その他：部活動
若草中野球クラブ	南アルプス市	野球	月 1 ～ 4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和 7 年 1 月 ～ 2 月	八田野球場他	1 人	3 人	会費なし （モデル事業のため）	中体連：部活動 その他：部活動
楡形中野球クラブ	南アルプス市	野球	月 1 ～ 4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和 7 年 1 月 ～ 2 月	八田野球場他	2 人	3 人	会費なし （モデル事業のため）	中体連：部活動 その他：部活動
甲西中野球クラブ	南アルプス市	野球	月 1 ～ 4 回	休日 午前または午後	中学 1 年 中学 2 年	令和 7 年 1 月 ～ 2 月	八田野球場他	2 人	3 人	会費なし （モデル事業のため）	中体連：部活動 その他：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 体験会、イベント等の開催や実施は行わなかった。

スポーツ

6

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 広域的な活動を行う統括コーディネーターを1名配置
- 南アルプス市部活動地域移行推進協議会を2回開催
- モデル事業の実施
- アンケート調査による問題点、課題の集積・分析

取組の成果

- 統括コーディネーターを配置したことにより、学校との連絡調整・情報交換等を円滑に行うことができた。
- 学校長や部活動顧問と情報交換を行うことにより中学校の実情を把握し、運営・実施主体である市と中学校間との連絡調整等を行うことができた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

【総括コーディネーター】

- ・毎月3～4回、事業の進捗等の把握や課題の整理等について事務局担当者と打ち合わせ
- ・学校や指導者との連絡調整を実施
- ・資料の作成

今後の課題と対応方針

- ・今後、休日の部活動を地域クラブ活動に移行するには「財源の確保」、「人材の確保」、「交通手段」等が課題となる。地域クラブ活動の運営や実施が円滑に行われるよう、協議会で検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項	人材バンクの人数		登録者属性	種目	資格有無
・スポーツ協会・文化協会への地域指導者確保への協力依頼	7名		・部活動顧問（兼職兼業） 10名	・ホッケー	・部活動顧問（兼職兼業）
・やまなしスポーツ指導者養成プロジェクトの活用	人材バンクの年齢構成		・スポーツクラブ職員・部活動指導員等 6名	・男子バレーボール	・部活動指導員
・県が用意した人材バンク「スポカルやまなし」を利用して地域指導者を任用	10代	3名	・外部指導者 3名	・野球	・外部指導者
・任用した地域指導者を地域クラブ活動等に派遣	20代	4名	・学生 7名	※上記3競技でモデル事業を実施	・大学生（やまなしスポーツ指導者養成プロジェクトを受講した者）
	30代	0名	・地域指導者 2名		
	40代	0名	（男性21名、女性7名）		
	50代	0名			
	60代以上	0名			

取組の成果

- ・部活動顧問（兼職兼業）、部活動指導員、外部指導者、大学生を地域指導者として任用し、28名確保
- ・受け入れ可能な団体のある競技の団体の職員や、県やまなしスポーツ指導者養成プロジェクトを受講した大学生も任用することができた

2.実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和6年度は1～3のモデル事業を実施することを協議会で決定し、実際に3競技（ホッケー、男子バレーボール、野球）でモデル事業を実施した。

令和7年度もモデル事業を継続して実施する。

地域移行にあたっては、「財源の確保」、「地域指導者の確保（人材の確保）」、「交通手段」、「地域分け」、「大会出場するための資格」、「推薦体制の整備」、「過失に備えた対応」といった様々な課題がある。今後、解決に向けて検討・協議を進めていく。

地域移行については、いきなり全ての部活動を地域クラブ化することではなく、基本、今の部活動を維持しつつ、できる学校、部から、順次、進めていくことを目指している。そのため、部活動指導員や外部指導者を活用する現行の「学校部活動の地域連携」の充実を図り、しばらくは学校部活動と地域クラブ活動とを並走しつつ、生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむことのできる環境を整えていく。

今後、国の動向を確認しながら、令和8年には最低1つ以上の地域クラブ活動を開始できるよう、取り組んでいく。

●成果の評価

今年度は「指導者を派遣可能な団体のある競技でのモデル事業」、「部員数が少ない競技でのモデル事業」、「広域で合同練習を実施している競技でのモデル事業」という3つの目的の下で競技種目を選定し、3競技（ホッケー、男子バレーボール、野球）で実施できた。実施後にアンケート調査も行い、問題点・課題の集積もできた。

調査結果を分析すると、保護者は取組については「賛成」「どちらかと言えば賛成」が合わせて67%と大半が肯定的であった。不安な点は「移動手段」が59%と一番多く、次点で「経費負担」が33%であった。また、受益者負担については「1回500円未満」が59%で一番多かった。以上より、保護者は約7割が取組に賛成しているが、地域の特性もあり各学校間が遠く、移動に自転車や保護者の送迎が必要となることから、移動について不安や負担に思う保護者が多いことがわかった。

●今後に向けて

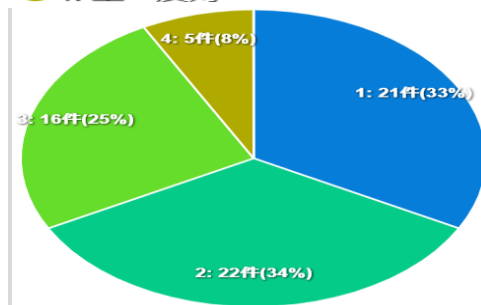
令和7年度も継続してモデル事業を実施していく。具体的には、令和6年度に実施したモデル事業のうち、ホッケー部モデル事業については令和7年4月以降も継続して実施する。また、令和7年度6月に第1回協議会を開催し、6月～9月中に年度後半で実施するモデル事業の検討及び準備を行う。その後、令和7年10月以降、準備したモデル事業を実施し、2月中旬にアンケート調査を実施して結果を検証する。また、国の動向を確認しながら、令和8年度以降に移行する部活動を検討する。以上のようなスケジュールをもとに、令和8年4月に最低1つ以上の地域クラブ活動を開始できるよう取り組んでいく。

アンケート結果・参加者の声

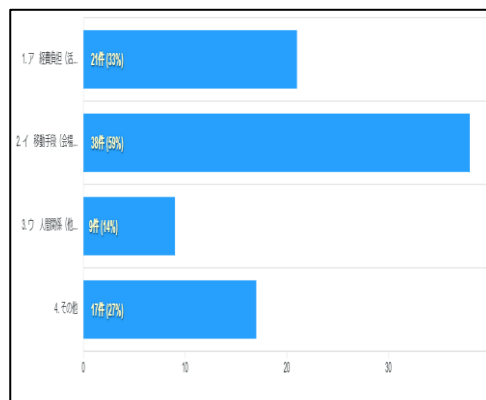
●アンケート結果

Q.この取組について、どのようにとらえていますか（保護者）

- 1. ア 賛成
- 2. イ どちらかといえば賛成
- 3. ウ わからない
- 4. エ 反対

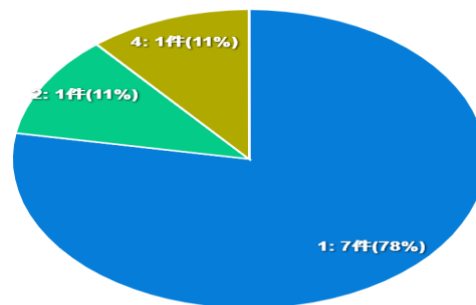


Q.この取組に関して、心配や不安に思うことはなんですか

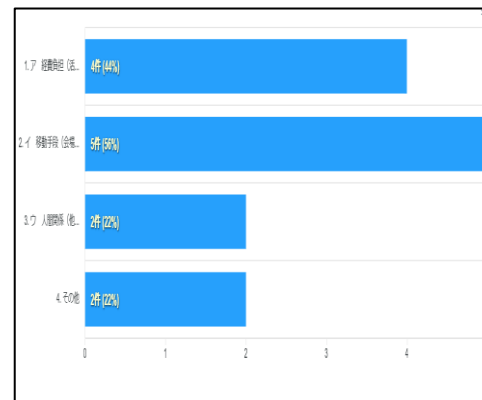


Q.この取組について、どのようにとらえていますか（地域指導者）

- 1. ア 賛成
- 2. イ どちらかといえば賛成
- 3. ウ わからない
- 4. エ 反対



Q.この取組に関して、参加する生徒への心配や不安に思うことはなんですか



南アルプス市部活動地域移行モデル事業実施アンケート調査（令和7年2月～3月実施）の結果抜粋

●参加者の声

中学生

取組については参加してみて良かったという意見が大半であった。主な理由は他校の友達が増えたから、練習内容がよかったからであり、他校の友達が増えて交流できたこと、普段よりも大人数のためその時にしかできない練習が出来たこと等を評価していることがわかった。反対意見としては対人関係が難しかったというものがあ、ペアを作ったりすることが大変と感じる生徒もいる。

保護者

取組については合計67%が賛成、25%は反対。賛成意見としては自校だけでは限界があり交流もできるため、沢山の人とコミュニケーションが取れるため、といった意見があった。反対意見としては利点がない、学校の先生の関わりが強いため急に来なくなるのは困る、といった意見があった。また、移動手段に不安を覚える保護者が多く、今後、検討していく必要がある。

指導者（など）

取組については89%が賛成。賛成意見として顧問がいなくとも活動できることや人数が多くなることで練習内容が充実するといった意見があった。反対意見としては何の相談もなく突然計画を示されたため戸惑った、夏に向けたチーム作りに支障をきたすという意見があった。また、保護者と同様、移動手段に不安を覚える指導者が多く、今後、検討していく必要がある。

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



令和6年6月26日 第1回協議会]



【令和6年12月7日 地域移行モデル事業（ホッケー）】



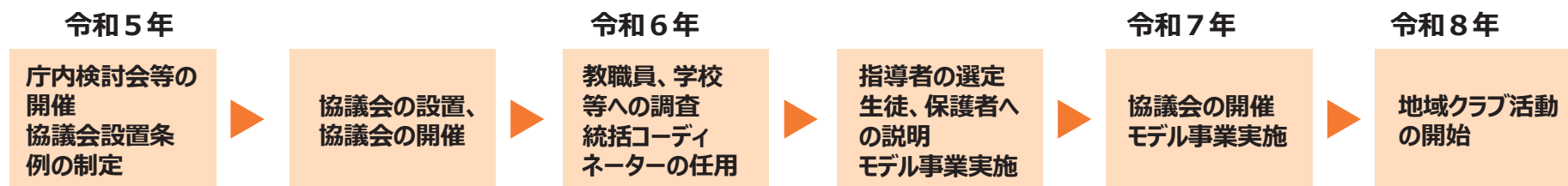
【令和6年11月30日 保護者説明会】



【令和7年1月18日 地域移行モデル事業（野球）】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

市教育委員会、市推進協議会、統括コーディネーター

経過

- 令和5年度は検討委員会等を開催して検討を行い、協議会を設置。協議会を2回開催して市の方向性・方針を決定した。
- 令和6年度は教職員等へのアンケート調査や統括コーディネーターの任用を行い、協議会を開催した。年度後半では調査結果及び学校長と情報交換を行い、3競技（ホッケー、男子バレーボール、野球）においてモデル事業を実施。課題点の集積・分析を行った。

実施内容

- 国の定める要件や学校部活動の方針に則る形でのモデル事業実施を検討し、問題点や課題の集積をするため、①本協議会に参加し指導者を派遣可能な団体のある競技の部活動、②部員数が少ない競技の部活動、③市内6中学校と広域で合同練習を実施している競技の部活動の、3競技（ホッケー、男子バレーボール、野球）の部活動でモデル事業を行った。

実施にあたって生じた課題

- 地域クラブ化した際の運営費用や指導者の確保
運営費用をどのように確保するのか、指導力と質を兼ね備えた指導者をどのくらい確保出来るのかが課題。

今後の展開

- 令和7年度は令和6年度と同様、モデル事業を実施。令和7年4月以降もホッケー部モデル事業は継続。令和7年6～9月から年度前半のモデル事業の実施、および年度後半に実施するモデル事業検討と準備を行う。令和7年10月以降はモデル事業を開始しつつ、令和8年度以降の移行する部活動を検討。
- モデル事業の参加生徒・保護者・地域指導者にアンケート調査を実施して結果を検証し、令和8年度には1つ以上の地域クラブ活動を開始する。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ						
市町村名（ 南アルプス市 ）		地域クラブ活動への移行に向けたロードマップ				
項目	担当課	取組内容・方向性等				
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（以降）	
①コーディネーターの配置	生涯学習課	○コーディネーターの募集・人選（退職教員を中心に声かけ）		○コーディネーターの決定（5月） ○コーディネーターの配置（6月）		○コーディネーターの配置
②協議会等の設置・運営	生涯学習課	○検討会の実施（2回）	○協議会の設置（12月） ○協議会の開催（12月・2月）	○協議会の設置・開催（6月・3月） ○地域クラブ活動への移行に関わる課題等の検討・協議・決定		○協議会の設置・開催（随時） ○地域クラブ活動への移行に関わる課題等の検討・協議・決定
	学校教育課			○協議会の設置・開催（随時） ○地域クラブ活動への移行に関わる課題等の検討・協議・決定		○協議会の設置・開催（随時） ○地域クラブ活動への移行に関わる課題等の検討・協議・決定
③運営体制の構築	生涯学習課		○モデル事業の開催			○1つ以上の地域クラブを実施
	学校教育課					
④指導者の確保	生涯学習課		○市スポーツ協会、市文化協会への協力依頼 ○学校顧問との情報交換 ○県人材バンクの活用			
			○指導者の決定・派遣			
						○指導者研修の検討・開催
	学校教育課					
⑤活動場所の確保及び管理運営	生涯学習課		○各学校との調整			
	学校教育課					
⑥予算・財源の確保（保護者負担等）	生涯学習課	○国の実証事業への参画による予算確保（仮） ・協議会運営費 ・コーディネーター人件費 ・指導者謝金 等 ①国費＋市町村単費（受益者負担含む）で事業実施が条件 ②実証事業は地域クラブ活動の取組実施が必須条件 ※①②より収支構造を分析。市町村単費確保と受益者負担詳細を検討				
	学校教育課					
⑦関係者への周知	生涯学習課		○顧問への説明	○保護者への説明	○市としての考え方・方針・ゴールイメージ等に関わる周知（HP等を用いる） ○運営団体・実施主体の具体的な取組に関わる周知（運営方針、実施内容、地域クラブの規定 等） ○実施される地域クラブ活動に関わる周知（参加者募集、指導者募集、協力のお願ひ 等）（HP等を用いる）	
	学校教育課					

一つ以上の地域クラブ活動の完全実施を目指す

一つ以上の地域クラブ活動の完全実施を目指す